

尾鷲市農業委員会 令和5年11月定例会 議事録

1. 開催日時：令和5年11月6日（月）午前10時00分から午前10時40分
2. 開催場所：尾鷲市立中央公民館1階小会議室（円卓）
3. 出席委員（6名）

会長	6番	高村	敦夫
委員	1番	船津	貫一
	2番	野田	泰史
	4番	塩津	史子
	5番	庄司	和稔
	8番	大川	治夫

農地利用最適化推進委員 濱野 薫久

4. 欠席委員

3番	黒	次美
7番	野地	長生
	北村	都志雄

5. 議事日程

1. その他

6. 農業委員会事務局職員

事務局長	芝山	有朋
事務局次長	野田	憲市
事務局書記	大川	健志

7. 会議の概要

議長

皆さんおはようございます。定刻となりましたので11月農業委員会定例会を開催いたしますのでよろしくお願いします。なお、本日の欠席委員は3番の〇〇さん、7番の〇〇さん、また推進委員の〇〇さんとなります。

本日の署名委員は1番〇〇さん、2番〇〇さんです。よろしくお願いします。本日は審議案件がございませんのでその他の事項から進めていきたいと思っております。鳥獣害対策についてということで事務局からお願いします。

事務局

はい、今年度から国の補助金を活用して、サル行動域調査を実施しております。配らせていただいた2枚の資料をご覧ください。まずの行動域調査というのはサルに首輪型の発信機を付けて、尾鷲市の場合鳥獣害パトロール員が発信機の電波を受信器で拾っていくというものです。尾鷲市では現在、2群分調査をしています。1枚めくっていただくと航空写真がありますが、左上に固まっている群れがA群で右下に固まっているのはB群になるんですけど、これは調査員さんが受信機をもとに発見した箇所の緯度経度を出していただいて、こちらがシステムに反映させた進捗データです。そもそもこの行動域調査を実施した理由が、資料見ていただくと分かりますが、今回の調査でサル行動域を調査、把握してサル行動を見える化をして群れのルート等を把握して、特定した場所に大型捕獲檻を設置し一気に捕獲することを目標としています。大型捕獲檻は1基しか要望できませんでしたので、このA群かB群のどちらかを捕獲したいと考えています。そのための効率的・効果的に設置場所選定するための行動域調査です。以上です。

〇〇委員

このA群は天満地区には行っているんですか。

事務局

A群は天満に近いところまでは行っていますが。天満の群れとは別らしいです。パトロール員も天満で群れは見るとは思いますが、電波は受信しないと言っていました。

〇〇委員

天満と向井には農業者が多いのでその群れを1番調査したいですね。

事務局 そうですね。現在発信器が付いている群れはどちらかと言えば生活被害が多いですね。

〇〇委員 やっぱり大事なのは檻の設置場所になるね。

事務局 そうですね。置きたいところに適地がない場合もあって地元の理解もいるということが難しいですね。餌付けもしないとなので。

〇〇委員 来年度の大型捕獲檻は何月位に導入予定なんですか。

事務局 もし仮に要望通り予算が付いたとしたら、国からの交付の決定、入札の都合上、夏位になるとは思います。

議長 獣害対策も様々してくれているみたいで頑張ってください。

事務局 もう少しよろしいでしょうか。去年度もさせていただきましたが有機農業の取組の中の農業イベントを今年は1月20日で決定しました。熊野古道センターが会場で、内容としては全国から有機農業者を呼ぶのと、尾鷲市で有機農業に取り組んでいる5人の農業者プラス市内農業者のブース等を出してもらおうかなと思っています。またPRとかチラシも作りますのでよろしくお願いします。

議長 活気があっていいね。皆さんからは何かございますか。ないようですので11月農業委員会定例会を終わります。ありがとうございました。

議事録署名委員

議事録署名委員